

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009.4/1
Vol.

10

ガバナー月信

2008～2009年度 国際ロータリー第2650地区テーマ「次の世代にときめきを」



目次●CONTENTS

地区大会ご案内	2
今月の月間テーマ	3
ガバナー補佐随想	4・5
2月会員数の増減および出席率表	6
幹事報告・2月の会員の動き	7

国際ロータリー第 2650 地区 2008 ～ 2009 年度地区大会

4月11日(土)・12日(日)

大津プリンスホテルで逢いましょう！

実行委員長 中野 勝 次
(近江八幡 RC)

本年度地区大会がいよいよ間近に迫ってきました。

近江八幡ロータリークラブがホストさせていただきますが、地元での対応が難しいので“大津プリンスホテル”での開催となり、なお会場収容能力の理由により新世代関係・RYLAの会合についてはやむなく近くの“アヤハレクサイドホテル”での開催となり何かとご不便をお掛けすることになりまして申し訳なく思っております。

地区大会開催については、昨年京都国際会館での次年度開催クラブの指名をうけて以来、コ・ホストクラブの守山RC、五個荘能登川RC、びわこ八幡RCのご協力ご支援を得て精一杯努力して参りました。

RI会長代理のRI第3510地区パストガバナー蔡定邦氏(台湾 高雄RC)ご夫妻も、当地区大会への参加を大変楽しみにしておられるとのこと。

近江八幡は豊臣秀吉の甥秀次(1568～1595)が八幡山(別名鶴翼山)に城を築き、その山麓に造られた城下町で道路は碁盤の目状にし、楽市楽座・自由市場の商人の町として天正13年(1585)に開かれました。

現在その城跡には、秀次の母「とも」の菩提寺、村雲瑞竜寺が京都より移築して建てられています。

その時掘られた八幡堀は内湖西の湖を経て琵琶湖に至り、琵琶湖の東西交通の拠点として栄え発展してきました。

平成18年1月八幡堀から続く西の湖の水路に広がる葦原群、水鳥がさえずる自然あふれる地域が、国の重要文化的景観第一号に選ばれ、水郷めぐりとして多くの観光に訪れる人々より好評を得ています。

1595年秀次死後、商人たちが立ち上がり、天秤棒を肩に八幡商人として京都・大阪・江戸以外にも北海道や九州そして海外へも進出し近江商人の中でも最も早く商いを広げてまいりました。

いまでもその時代の寺院や旧家が数多く残され当時を偲ぶことができます。

近年、近江八幡の古い商家や八幡堀水郷めぐりに年間300万人の観光客が訪れ賑わっています。

今回の地区大会エクスカーションはこの“商家の町並みや和船による水郷めぐり”をお楽しみいただきます。

基調講演をお願いしております森谷尅久先生は、以前市民が近江八幡の歴史や文化を学ぶ「八幡塾」の講師として、また川端ガバナーの市長時代から現在に至り近江八幡市史編纂委員として長年にわたってご指導いただいています。中近世日本史に精通され、近江商人の歴史にも古文書などを通して研究されておられる専門家で、“まちづくり”にどう結び付けたお話をされるのかを興味深く拝聴していただけたと思います。

4月10日(金)に行います地区大会記念ゴルフ大会は、現在のNPOから近く新たに財団法人として発足する日本ロータリー財団(千 玄室会長)への基金協力チャリティーコンペとして参加される会員皆様の御協力をお願いすることになりました。

地区内外会員並びにご家族の皆様のお越しをホストクラブ並びにコ・ホストクラブメンバー一同心よりお待ちしております。



4 月雑誌月間に

広報・雑誌委員会
委員長 武 部 宏
(京都洛中 RC)

私は今でも時々「ロータリーの友」創刊号をとり出して見ることがある。1954 年昭和 29 年 1 月、創刊号である。発行部数 3300 部だった。その前の年、1952 年大阪で開催された地区大会で、次年度から日本のロータリークラブが東西 60・61 の 2 つの地区に分割することが決定され、両地区の連絡を密にするために共通の機関紙の創刊が企画された。「ロータリーの友」誌の誕生となる。因みに「ロータリーの友」の名前は「主婦の友」からと言われている。

私自身が創刊号を手にはしないだろうと思っていたが、3 年程前、彦根ロータリークラブに招かれて広報のスピーチをさせていただいた折に、今は名誉会員の小出信雄さんから「ロータリーの友を語る者が創刊号を見たことがないようではいけません」と言ってコピーで送っていただいたものである。

戦後日本のロータリーが復興したのが昭和 24 年だったから 4 年目でクラブ数も少ないが、どのページからもこれから日本のロータリーはやるぞ! といった熱気、活気が伝わってくる。その年、我ら 61 地区の年次大会の案内が 11 月福岡市と出ているが、SL に乗っての福岡は限りなく遠かったに違いない。創刊前年昭和 27 年 10 月の京都ロータリークラブに於ける来客一覧表があって、10 月 1 ヶ月だけを見ても、大津から 10 名、東京から 8 名、以下大阪 7、奈良 5、熊本 3、岡山・札幌・福井各 2 名、神戸・西宮・新潟・津・今治・広島・静岡・帯広各 1 名、外人 2 名、これだけの人がビジターで訪問している。迎える京都クラブの面々は誇らしく、いかばかりか賑やかで華やかな例会だったかが伺える。ましてや SAA はクラブ 1 番の大役だったと思われる。

全国各地から京都を訪れたビジターは京都ホテルでの例会を体験し、各地へ帰っていった新しいクラブ創りの中心メンバーになっていったことだろう。その当時の RI 理事や鳥養利三郎ガバナー、歴代のパストガバナーが創刊号のために文章を寄せているが、その中でもパストガバナー村田省蔵氏の文章は雑誌月間でスピーチを頼まれた時に今も引用させて頂く事が多い。村田氏は「ロータリー精神の実行を」と題して「あの不幸なる太平洋戦争はロータリーの会員資格なき軍人、ロータリーの国際性を誤解せる軍人、ロータリーを迫害する軍人によって開始された。しかし、一部軍人をしてこの大錯誤を犯さしめるに対しては国民一般もまた

その責めを逃れることはできぬのでありまして、ロータリアンとしての我々は特に自責の念に耐えない次第であります。国民にロータリーの奉仕の精神が行き渡っていたならば、かくの如き挙に出なかったと思われます。今日、国際社会に主権国として立たんとしている日本の我々はロータリーの実行を会員間のみに期待するに留まらず、広く多くに及し国際間に愛敬される国民として立つべきであり、本誌の目標もこの点にあることを期待するものであります」と述べておられる。日本が戦後の目標として掲げた平和な国際社会の建設にはロータリーの奉仕の精神が肝要であると説き、併せて広報の大切なことをいち早く語っておられることだ。創刊号の中で私の好きな文章だ。

2 年程前に東京のロータリー文庫を訪ね本物の創刊号を手にし、しばらく感慨にふけていた。余談になるがロータリー文庫はロータリーの国会図書館のようなところだからロータリーに関するあらゆる文献が揃っている。注文すれば係の人が即座に持ってきてくれる。私が書いて送った文章まで残してくれていて、あれには感動だった。

4 月は雑誌月間だから各クラブで友誌を読みましようというスピーチが組まれていると思う。クラブから要請があれば地区委員が出向くことをいとわないが、まずは自クラブの広報なり雑誌委員長が語りかけ、全員参加で友誌を通しての議論を深めロータリーを学ぶことがこの月間の意義だと思う。そのことの為に地区委員会として、「4 月は雑誌月間<ロータリーの友>を活用しよう」と題したウェブツールを作り地区のホームページで活用を呼びかけている。機材がなければ印刷物としても使っていただけるようになっている。「友」の編集方針「ロータリーの友の始まり」では最初に見ていただきたいのが「友」への投稿の注意点 1、2 として各特集、企画ごとに採用してもらふコツというか秘訣とも読み取れよう。例会でスピーカーが喋りすぎて途中で時間となった場合、どこで終わっても違和感のないような構成にしたつもりだ。当地区委員会には大津東の志村修さんがいて IT にめっぽう強く、去年今年と連続でウェブ素材作りに力を発揮してくれた。

4 月の雑誌月間、地区内 96 クラブの例会でこのウェブツールがロータリアンの目に触れ心に響くことを念じている。



声なき要望・サイレントニーズ (Silent Needs)

—木の枝とステッキの挿し木—

坂本 克也

(京都八幡RC)

初めてのガバナー補佐を拝命、京都南方面の11ロータリークラブの担当をしています。補佐として、川端ガバナー、担当11クラブの皆様方にお役に立てたのか、不安が残る9ヶ月でした。各クラブのクラブアッセンブリーに出席、その後、川端ガバナーと共に公式訪問、それぞれの出席ごとにその結果や問題点について地区へ報告しています。

公式訪問での川端ガバナーのお話の中に、以下のことが度々出ていました。即ち、「まちづくり」には住民のサイレントニーズが何であるかを見極めるのが重要である。又、奉仕計画を立てるときも「声ある要求」のみでなく実際に何を求めておられるのか見極めるために「**声無き要求**」に耳、否 心を向けることが重要である。と…。

私の業は建築家で建築設計監理業務です。私の仕事においても、声無きご要望を察して設計提案することが最も重要な業務であります。例えば、「住宅」を設計させていただくことはその住宅にお住まいされる方々の人生を設計することと同じであります。しかし建築主は“生き方”よりも目に見えるハードなことに関してのご要望が多く、これらは声ある要望であります。しかし忘れてはならないのはやはりクライアント・建築主の「**声なき要望**」です。例えば、住宅を建てられるときの最も大事な要望、目的は以下の通りでしょう。

「新しい家では家族が楽しく生活し、夫婦仲良く、子供達も素直に育ち、何事にも関心を示す素晴らしい子供に成長、また、おじいちゃん、おばあちゃん共、幸せに過ごせる家がほしい!」と。これは、無意識の中の重要な本来の新築へのご要望・目的です。この建築主のお考えは大きなニーズでありますがお声にお出しになることは少ないですね。

例として、次に、A・Bの二軒の住宅設計の違いを示します。A・Bともに若いご両親、二人の小学生とおじいさんの家族。住宅設計の段階において、A住宅は、外はコンクリート、石、タイルなどで舗装され、土の部分はほとんど無く、B住宅は、外に「土の庭・畑」があります。子供達は同じ小学校に通う小学生達です。

ある日、これらの小学生達は理科の授業で「挿し木」(生の切り枝の下端を地中に挿入すると不定根を発生させて新株を作る。)のことで、自然と木の生命力のことを教えられ帰宅しました。共に、子供達は母親に「今日の理科で挿し木のことを教えてもらってん。ほんまやるか?やってみたいなー!

玄関にあるおじいちゃんのステッキも根が出るやるか?」と目を輝かして母親にたずねました。Aの母親は「出るわけがないやろ!」この一言で終わり、一方Bの母親は「そうね、じゃあ庭の木の枝を伐って、このステッキと一緒に土に差してみようね」。

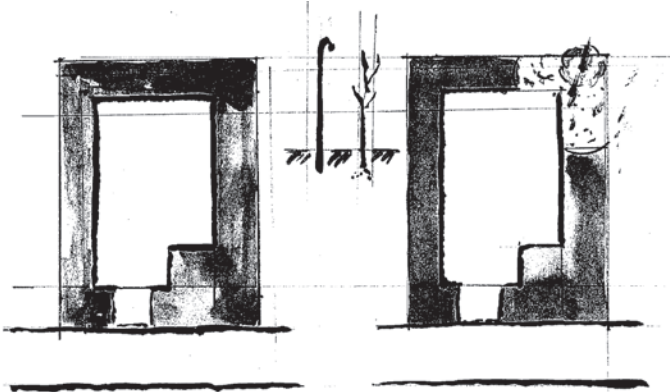
その後、Bの子供達と母親、家族の皆さんは、水を遣ったりし、数ヶ月ほど観察、挿し木のことに関心を持ち続けました。結果、切り枝には根が生え、ステッキは前のまま。なるほど!子供は大いに納得。自然の生命力、命について多くを学び、これを通じて家族の和は広がり生活はより楽しくなりました。(数ヶ月の間おじいさんは新しいステッキを買われたのかどうか判りませんが・・・)

家庭での生き方、教え、その子供に与える将来への影響については、A・Bの家庭では大きく異なりましょう。Bの家庭が素晴らしい生活を送られることになります。重要なことです。これは、設計の段階において、Bの場合は建築家がサイレントニーズを察し「土」を残したから出来た“実験”でしょう。(当然、お母さんの教育的感性があつての上ですが。)

このように声ある要望のみでなく、**声なき要望、サイレントニーズ**を心で聴いて、それをハードに置き換えるのが建築家であります。これと同様に「私達の日頃の奉仕においても声ある要望(～してほしい!毎年してることやし、など…)にのみ応えるのではなく、本当に将来に亘って有意義で、周りにも為になる奉仕であるのか?を考える必要がありますね。**奉仕にも企画力と想像力、洞察力が必要**でしょう。

A—外部:タイル・舗装

B—外部:庭・(畑)・土





『近江八幡見聞録』

田中文夫
(福井南 RC)

ガバナー補佐になり近江八幡に度々訪れた。ある時、刀根荘兵衛さんの案内で荒木一寿さんと3人で素晴らしい町並みを見た。それは近江商人の町関白秀次が作った綺麗な堀で囲まれた落ち着いた故郷のようだ。お堀の下には色々な花が咲き乱れ清らかな水が流れていた。数人の絵心の有る人が描いていた、清涼な空気に包まれて、時を忘れた。

昔八幡堀で琵琶湖を通る舟の通行料をとっていたが、戦後の自動車の時代になりその堀は悪臭の漂う場となり、市は堀を埋め住民の要望している駐車場を作り公園も作ろうとした。

そこに『堀は埋めた瞬間から後悔が始まる』と川端五兵衛氏は立ち上がり堀の再生に取り組み、町並み保存、水郷保全、かわらミュージアムの建設等、街づくり運動を続け市長に就任された。そして日本で最初の景観計画と重要文化的景観地区、そして景観農業振興計画をつくり、景観行政は三つとも全国でザ・ファーストを取ることができた。そして私達はこの素敵な近江八幡を散策して楽しむことが出来る。

JR 近江八幡駅から琵琶湖に向かう(ぶーめらん通り)玉木町交差点から右に郷土資料館、歴史民俗資料館、旧西川甚五郎邸等古い町並み八幡堀を左に橋を越えると日牟禮八幡宮、千有余年の歴史を誇る近江八幡の総社、まずお参り、前に見える八幡山一山頂まで4分間のロープウェー、山頂から基盤の目のような町並み、琵琶湖、水郷地帯が眺められる。この八幡宮境内には有名なクラブハリエのバーム



クーヘンや たねやのお菓子を買ひ、八幡堀の左右を眺め、できたら川岸に降りるといい、そこはなんとなく心とむ空間で、いろんな花が咲きみだれてる。そして詩や絵を描きたくなる風景だ。近江商人達が、昔住んだ(新町、永原町)は、格子戸や見越しの松、うだつなどが並び『重要伝統的建造物群保存地区』として町並みが保存されている。市立資料館の一部として公開されている『旧西川家住宅や伴家住宅』など、かつての近江商人の暮らしぶりが見られる。

都会の喧騒を忘れてのんびりしたい人は、水郷めぐりをお勧めします。『春色、安土八幡の水郷』として琵琶湖八景の一つとして、群生するヨシの中をカイツブリやヨシキリとともに楽しめる。ヨシは水質浄化や生態系の面から重要視され全国初の重要文化的景観に選ばれた。是非訪れるといい。癒される。

私も川端ガバナーさんとのご縁で、近江八幡を知り親類縁者や友人に是非訪ねるように勧め、訪ねた人は皆、知らなかつた、本当に良かったと言っている。訪ねて良かった町。もう一度訪れたい町。近江八幡に再度いこう。『商売は信用を第一とし、物の不足に便乗した値上げは厳しく戒め、正しい商いを、さらに橋の架け替えや神社仏閣への寄進も怠ることなく、地域貢献を忘れるな』とある。ロータリー精神と優しい物腰のガバナー事務所の諸兄に感謝しながら、『近江商人の生きる知恵を学ぶ旅』に又行こうと思っている。

2009年2月会員数の増減および出席率表

京都府（42クラブ）

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
綾部	36	0	0	36	39	0	3	4	91.67	0
福知山	57	0	0	57	58	3	4	4	92.00	0
福知山西南	45	0	0	45	46	0	1	4	92.02	1
亀岡	39	0	0	39	40	1	2	4	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	16	1	0	4	96.88	1
京都	198	1	0	199	194	13	8	3	97.83	0
京都伏見	94	0	0	94	91	7	4	4	85.00	3
京都平安	33	0	0	33	35	0	2	3	66.67	4
京都東	109	0	1	108	109	1	2	4	95.41	0
京都北東	36	1	0	37	32	5	0	3	89.21	0
京都城陽	32	0	0	32	30	3	1	4	93.10	0
京都桂川	37	0	0	37	36	2	1	4	86.94	0
京都北	71	0	0	71	69	3	1	4	98.86	0
京都南	222	2	2	222	223	8	9	3	92.16	0
京都モリツグ	52	0	0	52	54	1	3	3	88.28	3
京都紫野	62	0	0	62	61	3	1	4	100.00	0
京都中	39	0	0	39	40	0	1	4	100.00	0
京都西	112	1	0	113	110	3	0	4	100.00	0
京都西山	21	0	0	21	22	0	1	4	86.92	0
京都乙訓	34	0	0	34	35	0	1	4	93.25	0
京都洛中	80	0	1	79	78	3	2	4	97.02	0
京都洛北	69	0	0	69	69	2	2	4	93.93	0
京都洛南	38	0	0	38	38	1	1	4	93.02	1
京都洛西	51	0	1	50	50	2	2	4	93.56	5
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	4	92.76	0
京都さくら	31	1	0	32	31	4	3	4	88.08	5
京都嵯峨野	26	0	0	26	27	0	1	3	81.33	0
京都西北	51	0	0	51	50	2	1	3	93.53	0
京都西南	56	0	0	56	61	0	5	4	94.04	7
京都紫竹	46	0	0	46	47	0	1	4	81.93	1
京都朱雀	41	0	0	41	42	0	1	3	92.26	1
京都田辺	24	0	0	24	24	0	0	3	87.50	2
京都東山	78	0	0	78	81	1	4	4	99.64	0
京都山城	38	0	0	38	41	0	3	3	98.06	0
京都八幡	29	0	0	29	30	0	1	4	93.74	1
舞鶴	28	0	0	28	30	0	2	4	96.04	0
舞鶴東	48	1	0	49	48	2	1	4	81.25	0
峰山	39	0	0	39	38	1	0	4	87.48	2
宮津	48	0	0	48	48	3	1	3	92.82	0
園部	28	0	0	28	30	0	2	3	100.00	0
宇治	40	0	0	40	41	2	1	4	99.32	0
宇治鳳凰	43	0	0	43	44	0	1	4	93.60	5
小 計	2,316	7	5	2,318	2,326	77	80	平均 3.7	平均 92.31	42

奈良県（13クラブ）

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
五條	35	0	0	35	36	0	1	3	85.35	0
平城京	36	0	0	36	37	1	2	4	94.11	0
生駒	36	0	0	36	38	0	2	2	83.10	0
橿原	72	1	0	73	74	4	5	4	81.81	3
あすか	55	0	0	55	55	2	1	3	87.95	0
奈良	147	0	0	147	141	7	1	3	96.59	4
奈良東	45	0	0	45	45	1	1	3	99.24	0
奈良西	47	0	0	47	49	2	3	4	97.87	1
奈良大宮	66	0	0	66	65	2	1	4	86.65	0
王寺	25	0	0	25	26	1	2	4	97.96	2
桜井	51	0	0	51	50	3	1	3	86.79	0
大和郡山	49	0	0	49	51	1	3	4	92.34	0
大和高田	95	0	0	95	98	5	5	4	92.39	2
小 計	759	1	0	760	765	29	28	平均 3.5	平均 90.93	12

福井県（19クラブ）

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
福井	129	0	2	127	128	6	7	4	58.72	5
福井あじさい	46	1	2	45	47	3	5	4	72.39	3
福井東	36	0	0	36	36	3	2	4	76.30	3
福井北	119	0	0	119	120	3	4	3	83.76	5
福井南	62	0	0	62	64	0	2	4	80.93	0
福井西	40	0	0	40	42	2	4	4	79.49	0
福井フェニックス	45	0	0	45	49	0	4	5	73.78	9
福井水仙	21	0	0	21	23	0	2	4	69.05	1
勝山	26	0	0	26	27	0	1	4	83.27	2
丸岡	34	0	0	34	34	2	2	3	84.14	0
三国	46	0	0	46	43	3	0	4	80.00	2
大野	25	0	0	25	25	1	1	4	90.79	2
鯖江	48	0	0	48	50	0	2	4	88.82	1
鯖江北	22	0	0	22	23	1	2	3	86.08	0
武生	64	0	0	64	63	2	1	4	77.25	2
武生府中	38	0	0	38	38	2	2	4	92.11	0
敦賀	47	0	0	47	46	3	2	3	89.46	0
敦賀西	22	0	0	22	24	1	3	4	73.86	2
若狭	33	0	0	33	32	3	2	4	99.24	0
小 計	903	1	4	900	914	35	48	平均 3.8	平均 81.02	37

滋賀県（22クラブ）

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	49	0	0	49	50	0	1	4	85.41	1
五個荘能登川	24	0	0	24	22	3	1	4	81.82	0
彦根	71	0	0	71	70	5	4	4	92.98	2
彦根南	63	0	0	63	66	2	4	4	93.91	0
湖南	33	0	0	33	37	1	4	4	95.83	1
草津	43	0	0	43	44	0	1	4	85.18	0
水口	46	0	1	45	49	0	4	4	95.29	1
守山	44	0	0	44	44	1	1	4	90.34	0
長浜	58	0	0	58	58	3	3	4	94.28	0
長浜東	68	0	0	68	65	3	0	4	94.32	0
大津	116	0	2	114	110	13	7	4	100.00	1
大津中央	35	0	1	34	35	1	2	4	83.09	1
大津東	24	0	0	24	24	1	1	3	80.76	1
大津唐橋	23	0	0	23	23	1	1	4	75.22	1
大津西	27	0	0	27	24	3	0	4	98.96	0
近江八幡	62	1	2	61	67	1	7	3	91.20	2
栗東	34	0	0	34	36	1	3	3	87.25	2
滋賀湖北	26	0	0	26	23	5	2	4	85.58	0
高島	42	0	0	42	42	1	1	3	98.10	1
野洲	40	0	0	40	37	5	2	4	85.70	1
東近江	56	0	1	55	56	3	4	4	82.27	0
八日市南	55	1	1	55	55	4	4	3	88.31	2
小 計	1039	2	8	1,033	1,037	57	57	平均 3.8	平均 89.35	17

合計（96クラブ）

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	2月末 会員数	期 首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率	女性 会員数
合 計	5,017	11	17	5,011	5,042	198	213	平均 3.7	平均 89.21	108

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、2月会員数および入退会者累計数は、2月末日現在です。
- ・今年度の「期首会員数」は、平成20年7月1日現在の会員数です。

幹事報告

◆地区協議会のお知らせ

国際ロータリー第2650地区 2009～2010年度 地区協議会・第1回合同地区委員会が開催されます。

日 時：2009年5月9日(土)12:10～17:00

場 所：国立京都国際会館

2009年2月会員の動き

弔 慰 謹んでお悔やみ申し上げます



大和高田RC
中川 収一様
9月17日 ご逝去
54歳



奈良西RC
福本 明様
9月17日 ご逝去
72歳



京都西南RC
赤島 守様
9月29日 ご逝去
82歳



京都南RC
高田 一雄様
11月18日 ご逝去
73歳



草津RC
川端 成洋様
12月8日 ご逝去
67歳



福知山RC
岡本 利彦様
12月19日 ご逝去
78歳



京都東RC
西川 正規様
1月2日 ご逝去
82歳



大津RC
濱中 成一様
1月8日 ご逝去
93歳



京都RC
井筒 邦雄様
1月10日 ご逝去
80歳



京都南RC
圓城 佳逸様
1月24日 ご逝去
98歳



平城京RC
田中 隆嗣様
1月30日 ご逝去
69歳



東近江RC
松吉 仁司様
2月19日 ご逝去
84歳

◆新入会員

京都	今井 孝至	信託銀行
京都さくら	植木 亮一	石材販売
京都西	八野 良次	観光鉄道業
京都南	松吉 隆夫	画材小売
京都南	川端 雅彦	税理士
京都北東	吉井 淳一	和菓子製造
舞鶴東	松本 芳弘	電気設備
橿原	柴田 順夫	銀行
福井あじさい	田島 清博	清酒MD
近江八幡	岡地 勝二	大学教授
八日市南	中山 正文	司法書士

増田房二 パストガバナーを偲んで

ガバナー 川端 五兵衛

パストガバナーで京都東山ロータリークラブ会員でありました増田房二氏が3月2日にご逝去されました。3月5日にカトリック聖ヴィアートル北白川教会で厳かに告別式が行われましたので参加者に加えていただきました。謹んでここにご冥福をお祈り申し上げます。

増田房二氏は1969年7月に京都山科(現京都東山)ロータリークラブに入会。その後、米山奨学委員長・米山記念奨学会常務理事、RI第265地区(現2650地区)年次大会(82年4月・川島春雄ガバナー)大会委員長を務められ、1985年～1986年に当地区(RI第265地区)ガバナーに就任されました。その後、米山記念奨学会副理事長、社会奉仕諮問委員として務められ、2008年10月に退会されるまで永年にわたりロータリーを深く愛されたことは、私も大先輩として敬慕いたしておりました。

また、ロータリーのみならず、ご職業を通じ社会に多大な貢献をされるなど多岐にわたり活躍されました大先輩を失ったことは、返すがえすも残念なことであり、会員一同深い悲しみに耐えません。

この上は、増田氏のご偉業に学び、ロータリアンとして、また職業人として地区発展のために一層の努力をいたしますことをお誓いし、追悼のことばとさせていただきます。

ロータリー文庫ホームページ

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

ロータリー文庫のホームページが独立したサイトになりました。

◆ロータリー文庫通信

ロータリー文庫の資料から、毎月資料を厳選して発信しています。

◆ロータリー文庫検索

2万点余りある資料をインターネットで検索することが出来ます。



2008～2009 年度国際ロータリー第 2650 地区テーマ 「次の世代にときめきを」

●シンボルマーク紹介

RI2650 地区の四つのエリア京都府・奈良県・福井県・滋賀県が 次の世代にときめきを残すためには基礎となる土台が必要です。ロータリーの四大奉仕部門、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕を「心を持った一つの土台」と考え、協力・平和・柔軟性・思いやりの四つの観点から 4 色のイメージカラーで表現しました。

シンボルマークデザイン 鈴木大義



2650地区の情報満載! <http://www.rid2650.gr.jp/>
～08-09年度地区ホームページ～

国際ロータリー第 2650 地区のホームページをご覧になっていただけたでしょうか。

08-09 年度のホームページが公開されています。

地区の概要・組織、地区内クラブ、年間行事予定、例会変更情報、ダウンロードセンター等々、ロータリーの様々な情報を公開しておりますので是非ご覧下さいませ。

また 07-08 年度に引き続き、「月信α(アルファ)」のサイトも新しく開設いたしました。各クラブ公式訪問の報告や委員会報告、各会議報告等も随時更新し地区内の情報を皆様に公開させていただきます。また、クラブ奉仕活動等も公開させていただきますので、原稿・記事・写真の投稿をお待ちしております。

原稿・写真はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

広報・月信地区幹事 一伊達(事務局 筑摩)まで



<表紙によせて>

夢をかきたてる口マン、「ときめき」の対象である口マンをきらめくハートで表現し、それを求めて幼な子が手さぐりを始めた様子を画くことで次の世代を担う若人が志を立て理想の実現に向ってときめいて行くことへの期待をこめている。

「ときめき」は与えられるものではなく、自ずから湧き出ずるものであり、その源泉を穿つのは他ならぬ自分自身である。

ロータリアンの使命は、次の世代のためにこの源泉が至る処にちりばめられた世界を残すことである。

これこそロータリアンにとって、死に甲斐に値するのではないだろうか。

川端 五兵衛 記

「表紙の制作にあたって」

未来へ向けて成長しようとする子どもたちの力と、それをあたたかく見守り育てていこうとする親や地域の人々との心のふれあいをやわらかく、あたたかいイメージの中に表現しました。

未来を育てることの大切さというメッセージをみなさまに伝えることができればという思いで、制作させていただきました。

表紙デザイン 小寺 寿



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008-2009

国際ロータリー第2650地区

2008-2009年度 ガバナー 川端 五兵衛

■ガバナー 事務所

〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町413-5

Tel.0748-31-2650 Fax.0748-31-2651

E-mail: gov08-09.2650@joy.ocn.ne.jp